中標津町立学校の教育職員の時間外在校等時間（超過時間）

1　公表に向けた考え方

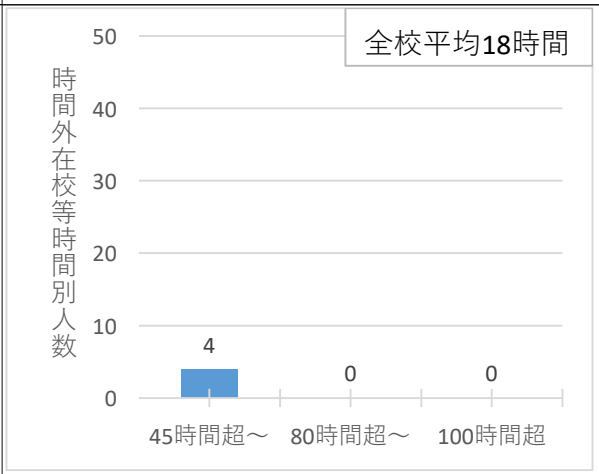
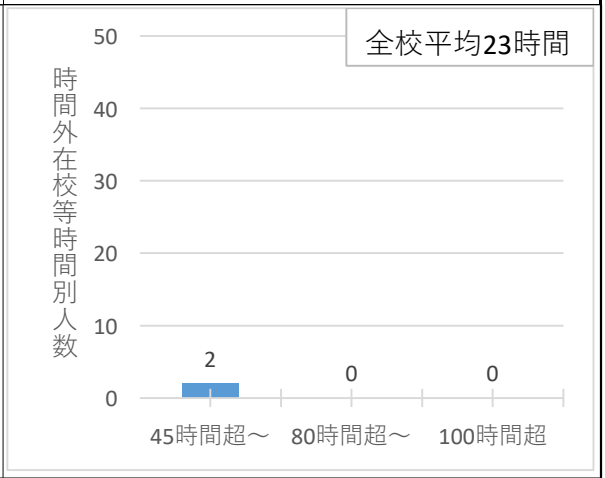
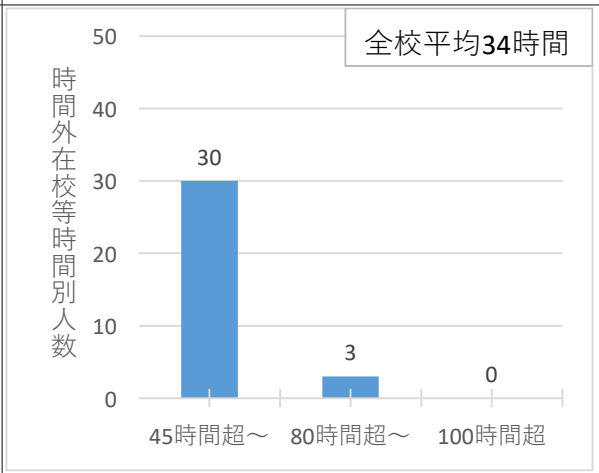
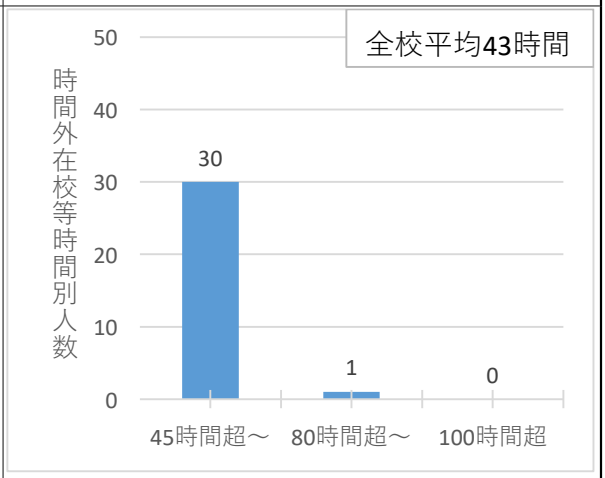
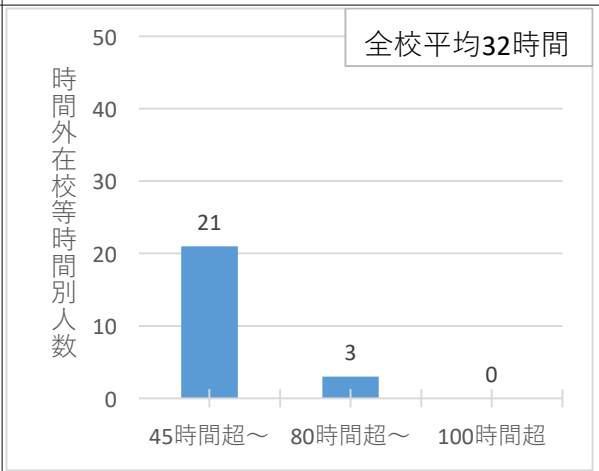
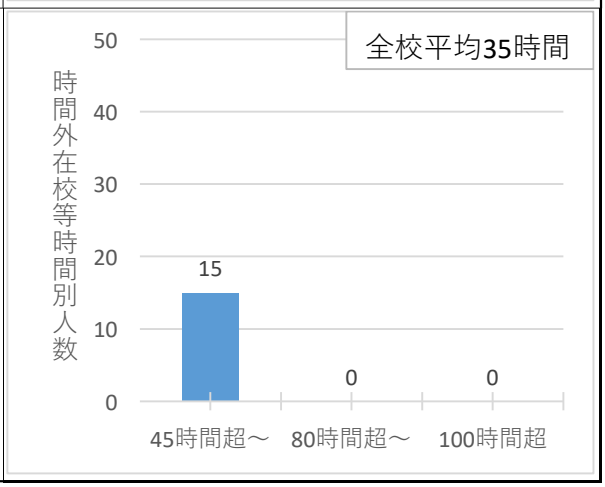
○中標津町教育委員会では、規則において、教育職員の在校等時間から所定の勤務時間等を減じた時間（時間外在校等時間（超過時間））を１か月で４５時間以内、１年間で３６０時間以内とする目標を掲げています。

○中標津町立学校において、令和３年度に導入した出退勤管理システムで把握される教育職員の時間外在校等時間（超過時間）を定期的に公表し、働き方改革に関する各般の取組実績を全体で確認することにより、長時間勤務の縮減に向けた実効性を確保します。

2　教育職員の時間外在校等時間（超過時間）

年月	学校種	職員数	時間外在校等時間（超過時間）別人数				平均時間
			45時間以下	45時間超～80時間以下	80時間超～100時間以下	100時間超	
令和6年1月	小学校（4校）	111名	107名	4名	0名	0名	18時間
				（4%）	（0%）	（0%）	
			（96%）	4名（4%）			
	中学校（3校）	66名	64名	2名	0名	0名	23時間
				（3%）	（0%）	（0%）	
			（97%）	2名（3%）			
令和6年2月	小学校（4校）	111名	78名	30名	3名	0名	34時間
				（27%）	（3%）	（0%）	
			（70%）	33名（30%）			
	中学校（3校）	66名	35名	30名	1名	0名	43時間
				（45%）	（2%）	（0%）	
			（53%）	31名（47%）			
令和6年3月	小学校（4校）	111名	87名	21名	3名	0名	32時間
				（19%）	（3%）	（0%）	
			（78%）	24名（22%）			
	中学校（3校）	66名	51名	15名	0名	0名	35時間
				（23%）	（0%）	（0%）	
			（77%）	15名（23%）			

3　教育職員の時間外在校等時間（超過時間）の割合

	小学校	中学校
令和6年1月		
令和6年2月		
令和6年3月		

※　教育職員とは、校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭をいいます。

※　在校等時間とは、教育職員が在校している時間を基本とし、郊外で活動する時間を加え、業務外の時間及び休憩時間を除いた時間を言います。

※　計根別学園については、前期（1～6年生）を小学校、後期（7～9年生）を中学校としています。